

※実施方法については、「実施要綱」別紙3「各項目の到達目標、評価、内容」を網羅した内容とすること。

研修カリキュラム（実施要綱別紙1）		実施計画				
講義・演習（実習）		カリキュラム名・時間数			実施内容	
1 職務の理解	6 時間	1 職務の理解			6 時間	1 職務の理解
			通学	通信	合計	介護保険による居宅サービス、居宅介護支援、施設サービス、地域密着型サービス、介護保険外サービス、講義と演習を一体的に実施 介護サービスを提供する現場の実際、介護サービスの提供に至るまでの流れ、チームアプローチ、講義と演習を一体的に実施
	(1) 多様なサービスの理解	(1) 同左	1	0	1	
	(2) 介護職の仕事内容や働く現場の理解	(2) 同左	5	0	5	
2 介護における尊厳の保持・自立支援	9 時間	2 介護における尊厳の保持・自立支援			9 時間	2 介護における尊厳の保持・自立支援
			通学	通信	合計	人権と尊厳の保持、ICF、QOL、ノーマライゼーション、虐待防止・身体拘束禁止、講義と演習を一体的に実施 自立支援、介護予防
	(1) 人権と尊厳を支える介護	(1) 同左	1.5	4.5	6	
	(2) 自立に向けた介護	(2) 同左	0	3	3	
3 介護の基本	6 時間	3 介護の基本			6 時間	3 介護の基本
			通学	通信	合計	介護環境の特徴の理解、介護の専門性、介護実践における連携 専門職の倫理の定義、介護の倫理、利用者や家族とかかわる際の留意点、講義と演習を一体的に実施 介護における安全の確保、感染対策 介護職の心身の健康管理、感染予防対策
	(1) 介護職の役割、専門性と多職種との連携	(1) 同左	0	1	1	
	(2) 介護職の職業倫理	(2) 同左	3	0	3	
	(3) 介護における安全の確保とリスクマネジメント	(3) 同左	0	1	1	
	(4) 介護職の安全	(4) 同左	0	1	1	
4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携	9 時間	4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携			9 時間	4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携
			通学	通信	合計	介護保険制度創設の背景および目的、動向、介護保険制度のしくみの基礎的理解、財源、組織・団体の機能と役割、講義と演習を一体的に実施 障害者福祉制度の理念、障害者総合支援法の基礎的理解、個人の権利を守る制度の概要、講義と演習を一体的に実施 医行為と介護、訪問介護、看護と介護の役割と連携、リハビリテーションの理念
	(1) 介護保険制度	(1) 同左	1	2.5	3.5	
	(2) 障害福祉制度及びその他制度	(2) 同左	0.5	2	2.5	
	(3) 医療との連携とリハビリテーション	(3) 同左	0	3	3	
5 介護におけるコミュニケーション技術	6 時間	5 介護におけるコミュニケーション技術			6 時間	5 介護におけるコミュニケーション技術
			通学	通信	合計	介護におけるコミュニケーションの意義、役割、目的、手技・技法、講義と演習を一体的に実施 チームコミュニケーションの重要性、記録における情報の共有化、報告・連絡・相談、カンファレンス
	(1) 介護におけるコミュニケーション	(1) 同左	3	0	3	
	(2) 介護におけるチームのコミュニケーション	(2) 同左	0	3	3	
6 老化の理解	6 時間	6 老化の理解			6 時間	6 老化の理解
			通学	通信	合計	老化と老年期、老化に伴う心身の機能の変化と日常生活への影響、講義と演習を一体的に実施 高齢者の状況・疾患の特徴、高齢者に多い状況、高齢者に多い疾患と日常生活上の留意点
	(1) 老化に伴うこころとからだの変化と日常	(1) 同左	3	0	3	
	(2) 高齢者と健康	(2) 同左	0	3	3	
7 認知症の理解	6 時間	7 認知症の理解			6 時間	7 認知症の理解
			通学	通信	合計	認知症ケアの背景と基本的視点、講義と演習を一体的に実施 認知症の概念、認知症の原因疾患とケアのポイント、認知症の治療と健康管理 認知症の生活障害、心理・行動の特徴、認知症の利用者への対応、講義と演習を一体的に実施 認知症の受容過程での援助、介護負担の軽減(レスパイトケア)
	(1) 認知症を取り巻く状況	(1) 同左	1	0	1	
	(2) 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	(2) 同左	0	2	2	
	(3) 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	(3) 同左	2	0	2	
	(4) 家族への支援	(4) 同左	0	1	1	

8 障害の理解		3 時間	8 障害の理解		3 時間	8 障害の理解	
				通学	通信	合計	
(1) 障害の基礎的理解			(1) 同左	0	0.5	0.5	(1) 障害の概念とICF、障害福祉の基本理念
(2) 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識			(2) 同左	0	0.5	0.5	(2) 身体障害、知的障害、精神障害、発達障害、その他の心身の機能障害
(3) 家族の心理、かかわり支援の理解			(3) 同左	1.5	0.5	2	(3) 障害の理解と障害の受容支援、介護負担の軽減、講義と演習を一体化的に実施
9 こころとからだのしくみと生活支援技術	75 時間		9 こころとからだのしくみと生活支援技術		75 時間	9 こころとからだのしくみと生活支援技術	
ア 基本知識の学習		10~13時間	ア 基本知識の学習		12 時間	ア 基本知識の学習	
				通学	通信	合計	
(1) 介護の基本的な考え方			(1) 同左	1	1	2	(1) 理論に基づく介護、法的根拠に基づく介護、講義と演習を一体化的に実施
(2) 介護に関するこころのしくみの基礎的知識			(2) 同左	1.5	2.5	4	(2) 学習と記憶の基礎知識、感情と意欲の基礎知識、自己概念と生きがい、老化や障害の不適応状態と緩和する心理、講義と演習を一体化的に実施
(3) 介護に関するからだのしくみの基礎的知識			(3) 同左	5	1	6	(3) 人体の各部の名称に関する基礎知識、骨・関節・筋と動きに関する基礎知識とボディメカニクス、生命維持・恒常のしくみ、講義と演習を一体化的に実施
イ 生活支援技術の講義・演習		50~55時間	イ 生活支援技術の講義・演習		51 時間	イ 生活支援技術の講義・演習	
				通学	通信	合計	
(4) 生活と家事			(4) 同左	2	3	5	(4) 生活と家事、家事援助に関する基礎知識と生活支援
(5) 快適な居住環境整備と介護			(5) 同左	0	4	4	(5) 快適な住居環境に関する基礎知識、高齢者・障害者のための居住環境整備、福祉用具に関する留意点と支援方法
(6) 整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護			(6) 同左	6	0	6	(6) 身じたくに関する基礎知識、身じたくの支援技術、講義と実技演習を実施
(7) 移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護			(7) 同左	10	0	10	(7) 移動・移乗に関する基礎知識、利用者・介助者にとって負担の少ない移動・移乗の支援、福祉用具の活用方法、講義と実技演習の実施
(8) 食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護			(8) 同左	6	0	6	(8) 食事に関する基礎知識、食事環境の整備と食事に関連した用具・食器の活用方法、食事形態とからだのしくみ、講義と実技演習を実施
(9) 入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護			(9) 同左	6	0	6	(9) 入浴・清潔保持に関する基礎知識、清潔保持の方法と福祉用具の活用、講義と実技演習を実施
(10) 排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護			(10) 同左	6	0	6	(10) 排泄に関する基礎知識、排泄環境の整備と関連する用具の活用方法、講義と実技演習を実施
(11) 睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護			(11) 同左	6	0	6	(11) 休息・睡眠に関する基礎知識、睡眠環境の整備と関連する用具の活用方法、講義と実技演習を実施
(12) 死にゆく人に関するこころとからだのしくみと終末期介護			(12) 同左	2	0	2	(12) 人生の最終段階に関する基礎知識、生と死の支援、死に向かうこころの理解、苦痛の少ない死への支援
(実習)*	(50~55時間中12時間以内)		(実習)*		0 時間	(実習)*	
介護実習	○時間						
ホームヘルプサービス同行訪問	○時間						
在宅サービス提供現場見学	○時間						
ウ 生活支援技術演習		10~12時間	ウ 生活支援技術演習		12 時間	ウ 生活支援技術演習	
				通学	通信	合計	
(13) 介護過程の基礎的知識			(13) 同左	2	0	2	(13) 介護過程の目的・意義・展開、介護過程とチームアプローチ、講義と実技演習を実施
(14) 総合生活支援技術演習			(14) 同左	10	0	10	(14) 演習を行うにあたり留意すること、事例をもとに検討し援助していく、講義と実技演習を実施
10 振り返り	4 時間		10 振り返り		4 時間	10 振り返り	
				通学	通信	合計	
(1) 振り返り			(1) 同左	3	0	3	(1) 根拠に基づく介護についての要点を再確認
(2) 就業への備えと研修修了後における継続的な研修			(2) 同左	1	0	1	(2) 今後継続して学ぶべきこと、キャリアアップの確認
追加カリキュラム	時間						
計	( 130 時間 )						

\*「9 こころとからだのしくみと生活支援技術」内で実習を行う場合、12時間以内とする。